

取り組んだ日 月 日

国語 一―二	中学校第一学年の内容 古典のリズムを味わう (平家物語)	名前	年	組	番
-----------	------------------------------------	----	---	---	---

平家物語の冒頭部をすらすら音読できるようにしましょう。

「平家物語」

ぎおんしょうじや かね こえ
祇園精舎の鐘の声、

しよぎょうむじょう ひび
諸行無常の響きあり。

しやら そうじゆ はな いろ
娑羅双樹の花の色、

じょうしゃひつすい ことわり (わ)
盛者必衰の理をあらはす。

ひと ひさ
おごれる人も久しからず、

はる よ ゆめ
ただ春の夜の夢のごとし。

もの (い) ほろ
たけき者もつひには滅びぬ、

(え) かぜ まえ ちり おな
ひとへに風の前の塵に同じ。

国語 一一六	中学校第一学年の内容 古典のリズムを味わう (論語)	名前	年	組	番
-----------	----------------------------------	----	---	---	---

論語を音読してみましょう。

- 子曰はく、「学びて時にこれを習ふ、また
説よろこばしからずや。朋ともえんぼう遠方より来たるあり、
またたの楽しからずや。人ひと知らずして慍うらみず、
また君子くんしならずや。」と。
- 子曰はく、「故ふるきを温あためて新あたしきを知しれ
ば、もつて師したるべし。」と。
- 子曰はく、「学まなびて思おもはざれば則すなわち罔くらし。
思おもひて学まなばざれば則すなわち殆あやうし。」と。
- 子曰はく、「己おのれの欲ほつせざるところは、人ひとに
施ほごうすことなかれ。」と。

国語 二―一	中学校第一学年の内容 文語のきまり・訓読のしかた (歴史的かなづかい①)	名前	年 組 番
-----------	--	----	-------

【歴史的かなづかいを現代かなづかいに直す四つの法則】

- 1 語中の「は・ひ・ふ・へ・ほ・む」は「わ・い・う・え・お・ん」と直す。
「あはれ」 ↓ 「あわれ」 「いへ」 ↓ 「いえ」
- 2 「あ・ゑ・を・ぢ・づ」は「い・え・お・じ・ず」と直す。
「まゐる」 ↓ 「まいる」 「ゝゑ」 ↓ 「こえ」
- 3 「くわ・ぐわ」は「か・が」と直す。
「くわし」 ↓ 「かし」 「いちぐわつ」 ↓ 「いちがつ」
- 4 「う」が他の文字に続くと、読み方が変わる。
① 「あう」 ↓ 「おう」 あふぎ ↓ あうぎ ↓ おうぎ
② 「いう」 ↓ 「ゆう」 いうげん ↓ ゆうげん
③ 「えう」 ↓ 「よう」 こうえふ ↓ こうえう ↓ こうよう
てみてふ ↓ てうてう ↓ ちようちよう

問題 次の①～⑩の語について、例にならって現代かなづかいに直して、
すべてひらがなで書きましよう。

例 わらふ ↓ (わらう)

- ① かほり ↓ () ② いはく ↓ ()
- ③ ゑむ ↓ () ④ ぐわいこく ↓ ()
- ⑤ をとこ ↓ () ⑥ もみぢ ↓ ()
- ⑦ けふ ↓ () ⑧ あふさか ↓ ()
- ⑨ うつくしう ↓ ()
- ⑩ まゐりて ↓ ()

国語 二―四	中学校第一学年の内容 文語のきまり・訓読のしかた (書き下し文)	名前	年 組 番	取り組んだ日 月 日
-----------	--	----	-------	---------------

基本事項確認

* 漢文の訓読について

漢字ばかりの中国語の文を漢文(白文)と言います。昔の日本人は、漢文を日本語風に読む方法を開発しました。その読み方を「訓読」と言います。漢文を訓読するためには、中国語と日本語の「語の順番の違い」と「助詞と助動詞、用言の活用語尾が表記されない」という二つの違いをクリアする必要があります。

語の順番の違いは、漢文の左下に、「返り点」を書きました。中国語では表記されない言葉は、漢文の右下に「送りがない」(小さなカタカナ)で書きました。返り点と送りがないをつけた文を「訓読文」と言います。訓読文を漢字・仮名交じりに書き改めた文を「書き下し文」と言います。

白文・・・・・・・・春 眠 不 覚 曉
 訓読文・・・・・・・・春 眠 不 覚 曉
 書き下し文・・・・春眠曉を覚えず

問題 次の文の中から書き下し文を二つ選び、記号で書きましよう。

() ()

ア 少年老い易く、学成り難し

イ 不 亦 説 乎

ウ 我 読ム 書ヲ

エ 百聞は一見に如かず

オ 不レ 合ハレ 理ニ

カ 歲月人を待たず

キ 夜 来 風 雨ノ 声

ク 花 落 知 多 少

国語 二一五	中学校第一学年の内容 文語のきまり・訓読のしかた (返り点)	名前	年	組	番
-----------	--------------------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

基本事項確認

*「返り点」について

漢文の語の順番を日本語と同じ順番で読むために、白文の左下につけたもの。

① レ点(れてん)・・・下の一字をすぐ上の字の前に持ってくる。

□_レ ○_レ ↓ ○ □ 習_レ 之_レ ↓ 之を習ふ

② 一・二点(いち・にてん)・・・二点の下から一点までの漢字を二点の上に持ってくる。

□_ニ ○_ニ △_レ ◎_ニ ↓ ○ △ ◎ □

③ レ点と一、二点の組み合わせ

□ ○ △_レ ◎_ニ ☆ ※_レ ↓ □ ○ ☆ ※ ◎ △

問題 次の返り点のついた□は、どの順番で読みますか、例にならって

順番を数字で答えましょう。

例	①	②	③	④	⑤
□ _ニ	□ _レ	□ _ニ	□ _レ	□ _レ	□ _ニ
2	2	2	2	2	2
□ _レ					
3	3	3	3	3	3
□ _ニ	□ _レ	□ _レ	□ _レ	□ _レ	□ _ニ
(2 3 1)	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()

国語 三一	中学校第一学年の内容 多様な語句 (語句の意味と文脈①)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
----------	------------------------------------	----	---	---	---	---------------

◎語句の意味と文脈

次の言葉は文脈によって違う意味に解釈できます。それぞれどのような意味で用いられているか選びましょう。

1 病院

- ア 病院という建物や場所という意味
- イ 所属する職員や医師などという意味
- ウ 診療などの業務という意味

- ① 駅前の病院はとても評判がよい。 ()
- ② ここから病院まで歩いて十分ほだだ。 ()
- ③ 祝日もやっている病院を探す。 ()

2 ご飯

- ア 米飯という意味
- イ 献立という意味
- ウ 食事という意味

- ① 今日のご飯を何にするか考える。 ()
- ② 運動をしたのでご飯がうまい。 ()
- ③ 土鍋を使ってご飯を炊く。 ()

◎多様な語句の意味・使い方

次の文の に当てはまる言葉をそれぞれ選びましょう。

1

本位で書かれた記事に振り回されてはいけない。

()

- ア 興味
イ 興味

2

難病の治療法の研究に を注ぐ。

()

- ア 心血
イ 精神

3

眼下には 雪景色が一面に広がっている。

()

- ア かぐわしい
イ 美しい

4

私は毎朝六時に起きることを にしている。

()

- ア 習慣
イ 風習

取り組んだ日 月 日

国語 四―一	中学校第一学年の内容 単語の分類 (品詞①)	名前	年	組	番
-----------	------------------------------	----	---	---	---

次の各文から、指定された品詞の単語を抜き出しましょう。

① 雨がざあざあ降ってきた。

名詞

()

()

② 外は寒い。しかし、部屋は暖かい。

接続詞

()

()

③ 電車がゆっくり走る。

副詞

()

()

④ あらゆる手段を使う。

連体詞

()

()

⑤ ご飯がおいしい。

形容詞

()

()

品詞について

名詞…物の名前・事柄を表す言葉。

接続詞…つなぐ働きをする言葉。

副詞…用言を修飾する言葉。「どのように」「どのくらい」などを表す。

連体詞…体言を修飾する言葉。「どの」「どんな」を表す。

形容詞…性質・状態を表す言葉。

国語 四―二	中学校第一学年の内容 単語の分類 (品詞②)	名前	年	組	番
-----------	------------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の各文から、指定された品詞の単語を抜き出しましょう。

- ① きれいな花が咲く。 形容動詞 () ()
- ② おはよう、今日もいい天気だね。 感動詞 () ()
- ③ 会議に参加する。 動詞 () ()
- ④ 美しい庭を眺める。 名詞 () ()
- ⑤ 毎日楽しく暮らす。 形容詞 () ()

形容詞の活用

かる かつ・く い い けれ ○

形容動詞の活用

だろ だっ・で・に だ な なら ○

国語 四―三	中学校第一学年の内容 単語の分類 (品詞③)	名前	年	組	番
-----------	------------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の各文から、指定された品詞の単語を抜き出しましょう。

① 公園で遊ぶ。 **助詞**

() ()

② 予想通りの結果です。 **助動詞**

() ()

③ 千円で何個でも食べられる。 **助動詞**

() ()

④ 雨が降る。 **助詞**

() ()

⑤ 学校に集まる。 **助詞**

() ()

<p>助詞：活用しない付属語。 助動詞：活用する付属語。</p>

国語 四―四	中学校第一学年の内容 単語の分類 (品詞の違い)	名前	年	組	番
-----------	--------------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の―線の「ない」を、①助動詞 ②形容詞 に分類しましょう。

- 1 山にはゴミ箱はない。()
- 2 狭い庭では花も育てられない。()
- 3 読書は生活に欠かせない。()
- 4 元気でいられることは当たり前ではない。()
- 5 暗くて周りがよく見えない。()
- 6 命に別状はないそうだ。()

〈ヒント〉

「ない」の見分け方：「ない」を「ぬ」に置き換える。

意味が通じたら、「助動詞」。

意味が通じなかったら、「形容詞」。

取り組んだ日 月 日

国語 五―一	中学校第一学年の内容 語句のはたらき (指示語①)	名前	年	組	番
-----------	---------------------------------	----	---	---	---

次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。

「母さんの話は極端すぎるよ」 達也は、 <u>そう</u> 言い残して自分の部屋のある二階へと逃げる ように上がっていった。
--

小・中学校 東京都道徳教育読み物資料集より

問題 文章中の―線部「そう」は何を指しますか。文章中から抜き
出しましょう。

--

国語 五―三	中学校第一学年の内容 語句のはたらき (接続詞①)	名前	年	組	番
-----------	---------------------------------	----	---	---	---

次の文を読んであとの問いに答えましょう。

ガリレオ・ガリレイは、大学で様々な学問などを学びましたが、目指すものがなかなか定まりませんでした。

()、若きガリレオにとって、大きな啓示を受ける運命的な出会いがありました。それは、ガリレオがトスカーナ宮廷を訪ね、宮廷付きの数学者であるオステイオ・リッチの講義を、偶然聞いたときのことです。ガリレオは、リッチの講義に魅了され、教えを請います。そして、リッチの自宅で、自由で実用的な学問の教えを受けるようになりました。()、ガリレオは、数学に類いまれな才能を発揮し始め、ピサ大学、パドヴァ大学の教授を歴任しながら、多くの功績を挙げていきました。

「心みつめて」真実から真理を求める ―ガリレオ・ガリレイ―より

1 文中の空欄らんに当てはまる言葉を次の の中から選んで書きましょう。

だから	しかし	やがて	さらに	つまり
-----	-----	-----	-----	-----

2 文中の「線」が指しているものを抜き出しましょう。

()

国語 六一一	中学校第一学年の内容 表現技法①	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

1 次の文の中から比喩ひゆの部分を見つけて線を引きましょう。また、比喩の種類を、あとのア～ウから選び、記号で書きましょう。

- ① 彼はライオンのように走っていた。 ()
- ② あの子は人形みたいにかわいいね。 ()
- ③ 雨が降らず、まるで砂漠さばくのようだ。 ()
- ④ 人生は航海だ。 ()
- ⑤ 山が笑っている。 ()

ア 直喩 イ 隠喩いんゆ ウ 擬人法

2 次の文中で使われている表現技法は何ですか。あとのア～ウから選び、記号で書きましょう。

- ① 静かさや岩にしみいる蝉の声 ()
- ② 彼は遠い遠い国へ行ってしまった。 ()
- ③ 歩いていく、どんな困難あに遭おうとも。 ()
- ④ 空に飛び立つ鳥。 ()
- ⑤ それは小さな小さな花でした。 ()

ア 体言止め イ 倒置法 ウ 反復法

国語 六一二	中学校第一学年の内容 表現技法②	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

◎次の文の中で使われている表現技法は何ですか。あとのア～キの中から
 選び、記号で書きましょう。

- ① 歩いていく、どんな困難に遭あおうとも。 ()
- ② あの人は鬼だ。 ()
- ③ 彼女の歌声はまるで波のようだった。 ()
- ④ あなたは天使だ。 ()
- ⑤ 帰ってきたよ、彼が。 ()
- ⑥ 海が怒っている。 ()
- ⑦ 大きな大きなお城がありました。 ()
- ⑧ 自分の意志を貫く、誰に反対されようと。 ()
- ⑨ 教室から聞こえる男の子たちの声。 ()
- ⑩ 雲が泣いている。 ()

- ア 体言止め
- イ 倒置法
- ウ 反復法
- エ 省略法
- オ 直喩
- カ 隠喩いんゆ
- キ 擬人法